

# 近現代の松原

地図で見る



ここでは明治維新から松原市誕生までのおよそ90年の歴史を知るための29地点を紹介いたします。また、それ以外にも知っておきたい地点を名前のみ示しています。今回の記事や松原市の歴史についてさらに詳しく知りたい方は、『松原市史第2巻 本文編2(近現代)』(税込6,500円)および『松原歴史ウォーク』(税込1,800円)をご覧ください。

**1 田中家住宅** ●見学不可

明治5年頃建築の主屋と昭和初期の長屋門・土蔵・離れ・外廓が国登録有形文化財です。主屋は当地域の近代和風建築を知るための貴重な例です。なお、明治初期の当主田中左造は狭山鉄道の計画に積極的に参加した人物です。

**2 嶋田家住宅** ●見学不可

明治時代の文楽書院・奥座敷棟・道具蔵・大門が国登録有形文化財です。建築時の当主は嶋田善平で、池内村(後の天美村)の村政に尽力しました。意匠をこらした数寄屋の建物には、文化人でもあった当主の美意識が反映されています。

**3 藩校 丹南学校**

明治元年(1868)、丹南藩主高木正垣が国家のための人材育成を目的に陣屋内に藩校「丹南学校」を築きました。生徒は6〜15歳で、藩士の子弟と平民が入学可能でした。明治4年の廃藩と共に廃校となり、後に郷学校出張所となりました。

**4 郷学校と感恩寺**

郷学校は、初等教育を目的に堺県が明治5年(1872)年に独自で設置した公立学校です。市域では、河内国二十区郷学校本校が池内村の感恩寺に置かれました。また、複数のお寺や個人宅に出張所がおかれました。

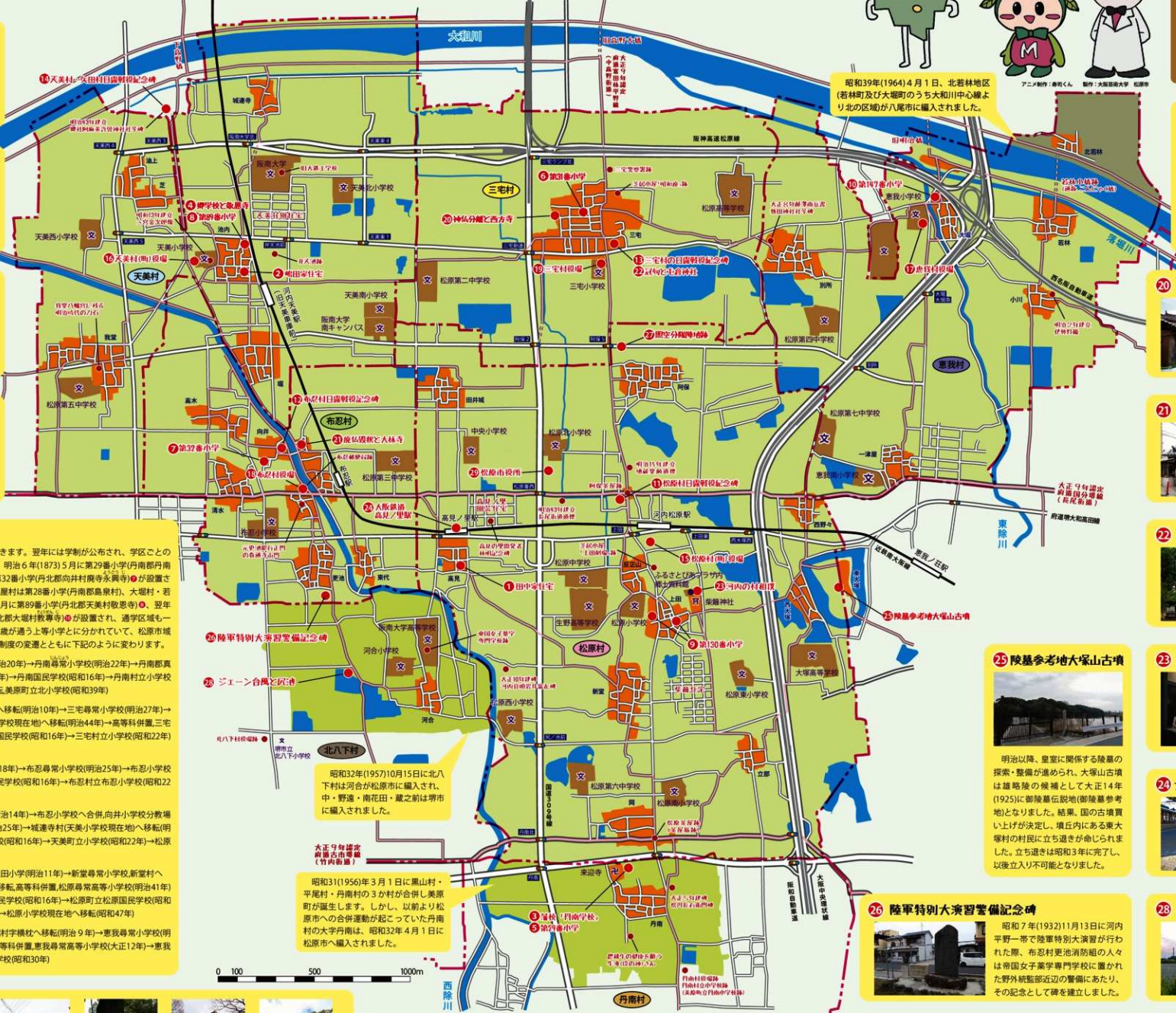
**5〜10 学制の公布と近代学校の誕生**

明治4年(1871)に文部省が設置され、近代教育制度が整えられています。翌年には学制が公布され、学区ごとの学校設置が決まりました。松原市域は第3学区区16番小中地区で、明治6年(1873)5月に第29番小学(内南郡内南村元丹南学校) ●、第31番小学(内北郡三宅村善長寺及び久久寺) ●が設置されました。なお、河合村は第2番小学(八上野邊村)、小川村(一津屋村)は第28番小学(丹南郡泉村)、大塚村、若林村は第34番小学(丹北郡川辺村)の通学区域でした。その後、同年8月に第89番小学(丹北郡天美村感恩寺) ●、翌年に第130番小学(内北郡上田村福正寺及び福屋寺) ●、第147番小学(内北郡大塚村感恩寺) ●が設置され、通学区域も変更されました。当時小学校は6〜9歳が通う下等小学と10〜13歳が通う上等小学とに分かれていた、松原市域に設置された6校は全て下等小学でした。その後、学校名と所在地は制度の変遷とともに下記のように変わります。

- 第29番小学(明治6年)→丹南小学(明治9年)→丹南郷小(明治20年)→丹南郷小(明治22年)→丹南真備寺村(明治44年)→高等科併置丹南高等常高小学校(昭和15年)→丹南国民学校(昭和16年)→丹南村立小学校(昭和22年)→美原町立丹南小学校(昭和31年)→美原町立丹南小学校(昭和39年)
- 第31番小学(明治6年)→三宅村立小学校(明治8年)→三宅村上井先(明治10年)→三宅尋常小学校(明治27年)→分教場設置(明治34年)→分教場閉鎖(明治41年)→三宅村福屋(三宅小学校現在地)→高等科併置三宅尋常高等小学校(大正14年)→三宅青年訓練所併置(大正15年)→三宅国民学校(昭和16年)→三宅村立小学校(昭和22年)→松原市立三宅小学校(昭和30年)
- 第32番小学(明治6年)→向井小学校(明治8年)→更池村に転移(明治18年)→布忍尋常小学校(明治25年)→布忍小学校現在地へ移転(高等科併置、布忍尋常高等小学校(昭和5年)→布忍国民学校(昭和16年)→布忍村立布忍小学校(昭和22年)→松原市立布忍小学校(昭和30年)
- 第89番小学(明治6年)→池内小学校(明治8年)→城連寺村へ移転(明治14年)→布忍小学校へ合併、向井小学校分教場設置(明治18年)→池内小学校新築(明治20年)→天美尋常小学校(明治25年)→城連寺村(天美小学校現在地)へ移転(明治29年)→高等科併置、天美尋常高等小学校(明治43年)→天美国民学校(昭和16年)→天美町立小学校(昭和22年)→松原市立天美小学校(昭和30年)
- 第130番小学(明治7年)→松原小学校(明治8年)→城連神社へ移転、上田小学(明治11年)→新置尋常小学校、新置村へ移転(明治20年)→松原尋常小学校(明治27年)→河内川原原町に転移、高等科併置、松原尋常高等小学校(明治41年)→戦後学校行方不明(明治44年)→農業補習学校行方不明(大正7年)→松原国民学校(昭和16年)→松原町立松原国民学校(昭和17年)→松原町立小学校(昭和22年)→松原市立松原国民学校(昭和30年)→松原市立松原国民学校(昭和30年)
- 第147番小学(明治7年)→若林寺境内に転移、若林村(明治8年)→大塚村字横松へ移転(明治9年)→恵我尋常小学校(明治22年)→大塚村大字西浦恵我小学校現在地へ移転(明治41年)→高等科併置、恵我尋常高等小学校(大正12年)→恵我国民学校(昭和16年)→恵我村立小学校(昭和22年)→松原市立恵我小学校(昭和30年)

**11〜14 日露戦争と各村(記)記念碑**

明治37年(1904)に始まった日露戦争は、110万人の兵力を動員した総力戦で多くの戦死者を出しました。戦後、従軍者の氏名を刻んだ(記)記念碑が松原村・布忍村・三宅村・天美村・丹南村で建立されました。(記)記念碑は、上田丁目(自衛隊付近) ●、布忍神社境内(昭和29年に布忍小学校より移設) ●、屯倉神社境内 ●、南南美善神社境内(大阪市東住吉区) ●、誓生神社境内(明市美原区) ●にあります。



昭和32年(1957)10月15日に北八下村は河合松原市に編入され、中ノ野邊・南花田・蔵之前は市市に編入されました。

昭和31(1956)年3月1日に黒山村・平尾村・丹南村の3か村が合併し美原町が誕生しました。しかし、以前より松原市への合併運動が起こっていた丹南村の大学編入は、昭和32年4月1日に松原市へ編入されました。

昭和39年(1964)4月1日、北巻林地区(若林町及び大塚町のうち大川川中心線より北の区域)が八尾市に編入されました。

**15〜19 市制・町村制と旧町村役場**

「市制」及び「町村制」が明治21年(1888)4月25日に公布、翌年4月1日に施行され、後に松原市となる松原村、天美村、布忍村、恵我村、三宅村が誕生しました。明治41年(1908)測量の地図を見ると松原村役場 ●、天美村役場 ●、恵我村役場 ●は小学校に併設されており、布忍村役場 ●は街道を挟んで北側にあります。三宅村役場は屯倉神社境内にありますが、大正4年(1915)に三宅小学校の隣に新築 ●されます。なお、江戸時代の旧村名は大字として残りました。

**20 神仏分離と西方寺**

明治政府の神仏分離の方針を受け、神社の境内にあった神宮寺は廃寺となりました。明治4年(1871)に三宅村の屯倉神社にあった権左院も廃寺となり、本尊一面観音像は西方寺にある観音堂に移されました。

**21 廃仏毀釈と大林寺**

明治政府の廃仏毀釈の方針を受け、向井村では明治6年(1873)7月に永興寺と念仏寺が廃寺となりました。しかし、地域では葬祭等に困り、明治11年(1877)に八上郡大塚村(現堺市美原区)の大林寺を念仏寺跡へ移しました。

**22 冠句と屯倉神社**

明治30年代以降、全国で冠句が盛んになりました。市域では三宅村が特に盛んで、好家社という結社も存在し、屯倉神社拝殿に入道した額が奉納されました。冠句は出題された5文字に対し、中7字と5文字を考え一句立てするものです。

**25 陵墓参考地大塚山古墳**

明治以降、皇室に關係する陵墓の探検・整備が進められ、大塚山古墳は諸葛亮の候補として大正14年(1925)に御陵墓在野地(御陵墓参考地)となりました。結果、国の古墳買上げが決定し、墳丘内にある大塚村の村民に立ち退きが命じられました。立ち退きは昭和3年に完了し、以後立入り不可能となりました。

**23 河内の村相撲**

河内には村相撲が盛んで多くの村に素人相撲の相撲部屋があり、複数の部屋をまとめる相撲組合がありました。松原市域は河内十三組に属し、家系相撲でも興業が行われました。ふるさとあブラダでは相撲関係資料が展示されています。

**24 大阪鉄道高見/里駅**

大阪鉄道が大正11年(1922)4月18日に道明寺〜布忍間で営業を開始したことで、市域を初めて鉄道が走り始めました。市域で最後に開設されたのは昭和9年(1934)の高見/里駅で、構内に戦前の押しポンプ(津式ケーボ一号)が残っています。

**26 陸軍特別大演習警備記念碑**

昭和7年(1932)11月13日に河内平野一帯で陸軍特別大演習が行われた際、布忍村池田消防組の人々は帝国女子業学専門学校に置かれた野外統監部近辺の警備にあたり、その記念として碑を建立しました。

**28 ジェーン台風と尻池**

昭和25年(1950)9月に大阪へ来襲したジェーン台風により河内の尻池が被害を受けました。その後、溜池改修工事を行い完成記念碑を建立しました。記念碑には「北八下村大字河合領」とあり、行政区画の変遷を窺うことができます。

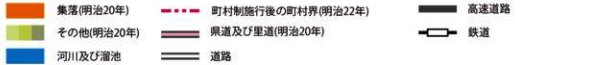
**27 空想分隊陣地跡**

アジア太平洋戦争が始まると、空襲に備えて爆撃機を捕獲・攻撃するための空想陣地と高射陣地が造られ、市域では阿保に空想分隊の陣地が造られました。戦後、陣地跡の兵舎が松原町立中学校校舎となり、第1回卒業式がここで行われました。

**29 松原市役所庁舎**

昭和30年(1955)2月1日に誕生した松原市は、旧松原町役場 ●を保存し、庁舎は隣の松原小学校講堂で行われました。その後、昭和34年に現在の場所に庁舎を建築し、平成7年(1995)に現在の庁舎へと建て替えられました。

上の地図は現在の松原市に明治20年(1887)頃の姿を重ね合わせたものです。復原には、大日本帝國陸軍陸地測量部発行の通称複製2万分の1地形図「金田村」(明治20年測量、明治25年製版)を参考としました。なお、里道については集落間を結ぶ主な道のみを抽出しており、全てではありません。



写真は「松原市立松原国民学校創立50周年記念誌」より転載